

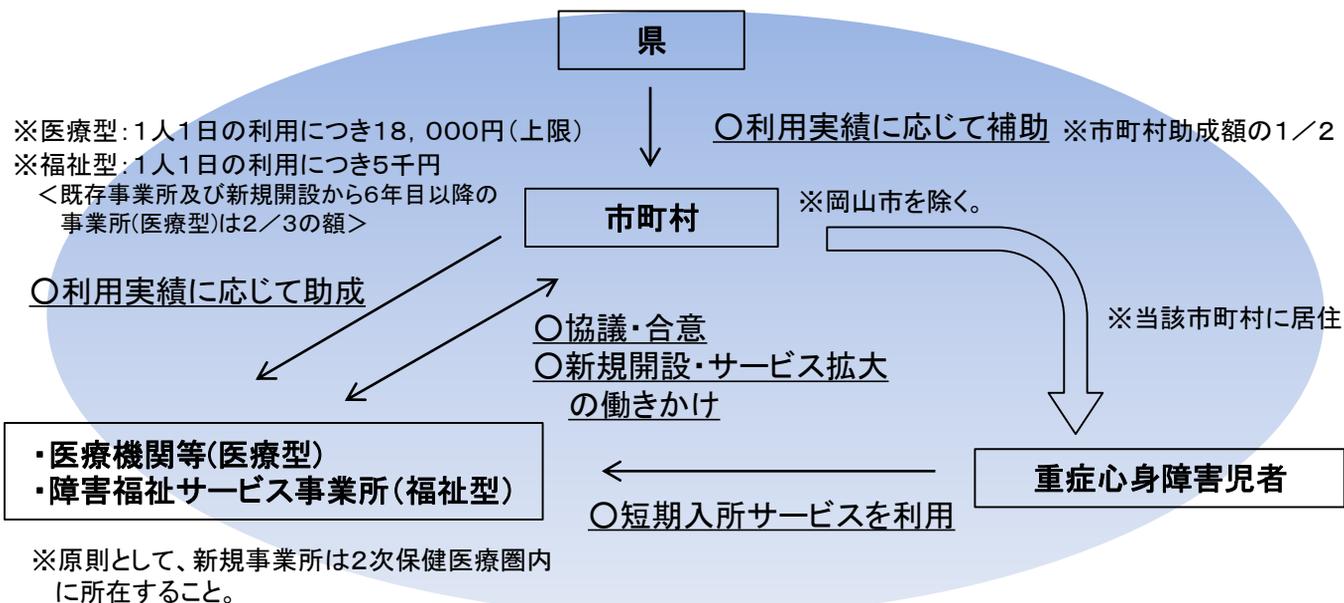
重症心身障害児者と家族の 安心生活サポート事業

<現状・課題>

- 県内の重症心身障害児者(重度の知的障害と重度肢体不自由が重複している障害児者)のうち約6割が在宅で生活
- 主たる介護者である家族の負担が過重傾向(睡眠不足・腰痛等)
- 在宅での生活を継続していく上で、レスパイトサービス(短期入所)のニーズが高い。
- 県内のレスパイト環境は全国と比較し十分でない。医療的ケアを行う施設が不足し、岡山市等へ施設が集中。
- 在宅サービス環境の不足等により、施設入所のニーズも依然として高い。
- 重症心身障害児者への理解不足や医療的ケアに従事する看護師等の人材や設備等も十分とは言えない。

レスパイトサービス施設拡大促進事業

★身近な地域のサービス環境
を重点的に整備★



重症心身障害児者への理解促進事業

★理解促進・人材の養成★

- 医療機関等の代表者をはじめとする関係者を対象とした、重症心身障害児者への理解と意識啓発を図るための研修会の開催等を実施。
- 看護師などを対象とした研修や医療機関等への担当医や専門家の派遣等を実施。

レスパイトサービス施設開設等支援事業

★設備等の整備★

- 新たに重症心身障害児者を受け入れるレスパイトサービスを実施するために必要となる設備整備又は備品購入の経費の一部を補助。 ・補助率1/2 ・上限額 医療型: 2,000千円 福祉型: 500千円
- 集中的な整備促進を図るため、平成26～30年度の時限的事业とする。

地域バランスのとれた、レスパイトサービス環境の整備・充実を総合的に促進

重症心身障害児者が県内どこでも安心して
生活できる社会を実現 !!